

表紙説明

麻酔トレーニング・シュミレーションシステム（米国CAE-Link社製）

歯科麻酔科外来に設置されている麻酔シュミレーションシステムは、全コンピュータ制御により、眼瞼は自然開閉し、瞳孔は光に対して反応する、脈も触知でき、また心音や呼吸音も実際に聞くことができ、胸郭が動いて呼吸による炭酸ガスの排泄を行うといった、実際と全く同じ状態を再現してくれます。これを利用して、私たちが現実に遭遇することの少ないアナフィラキシーショック、喘息発作、不整脈などの各種の病態を実際に体験し、さらに自分で選択した対処法が正しいか否かを確かめることも、実際に気管内挿管を行って全身麻酔をかけることも可能です。歯科麻酔学、救急蘇生学の卒前卒後の研修として利用されており、今後はさらに多くの方面で利用が期待されています。

歯学部附属病院歯科麻酔科

写真撮影 田中 裕